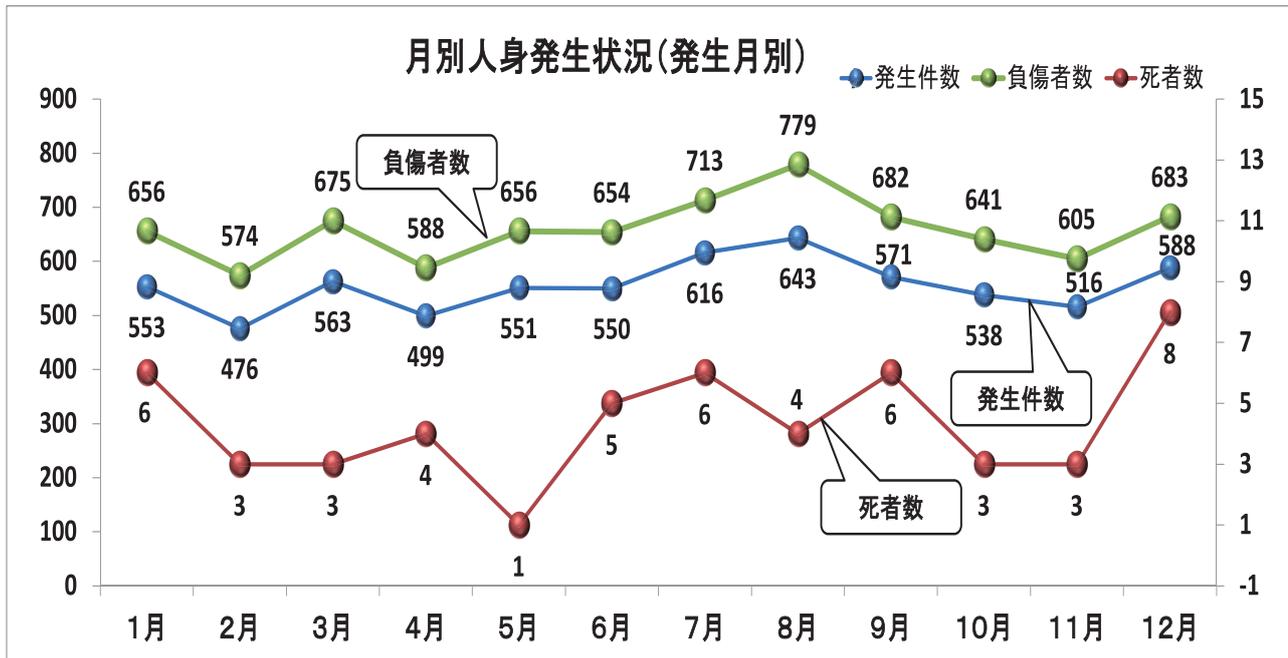


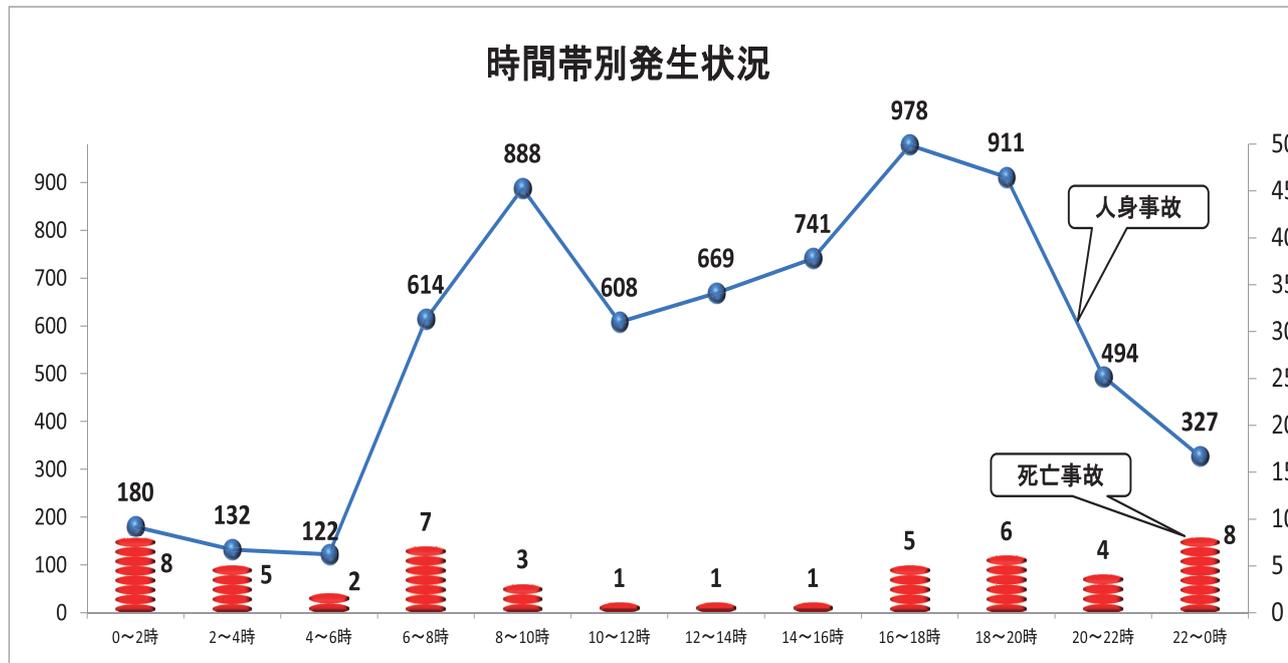
## 第2 平成25年中の交通事故発生状況

### 13 月別事故発生状況



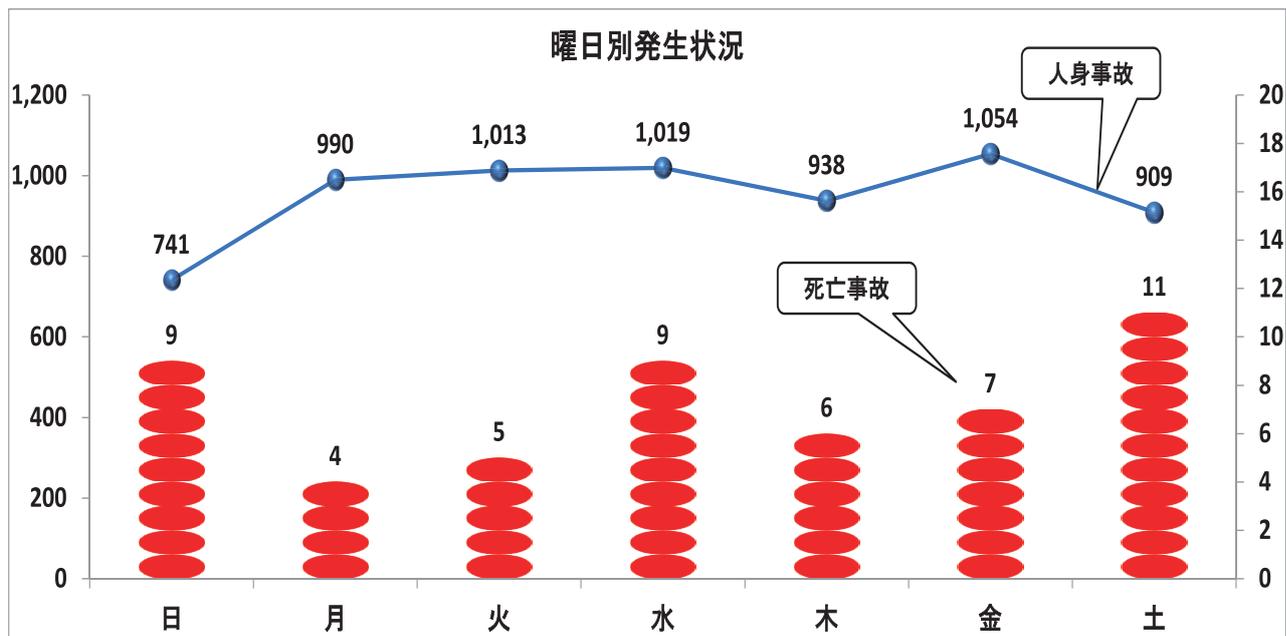
- 発生件数は、1ヶ月平均約555件で、8月(643件)が最も多く、2月(476件)が最も少なくなっています。
- 死者数は、12月が8人で最も多く、次いで1月と7月、9月の6人となっています。

### 14 時間帯別事故発生状況



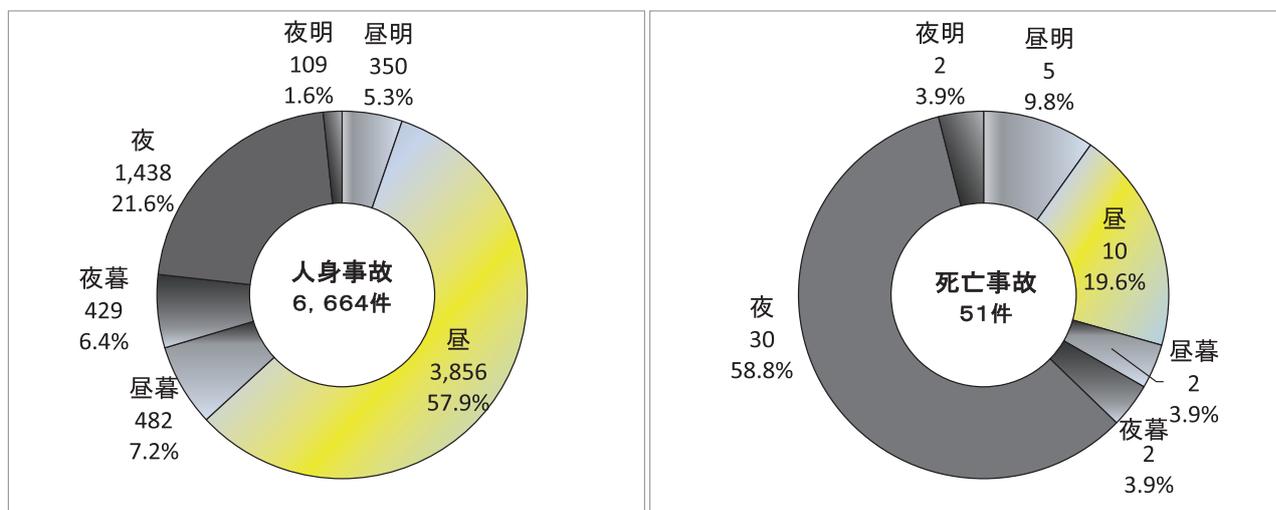
- 人身事故は、登校・出勤時間帯(8時~10時)と下校・退社時間帯(16時~20時)が発生のピークとなっています。
- 死亡事故は、深夜22時~午前2時の時間帯に最も多く発生しています。

## 15 曜日別事故発生状況



- 人身事故は、金曜日(1,054件)が最も多く、日曜日が最も少なくなっています。
- 死亡事故は、土曜日(11件)が最も多くなっており、特に週末(金、土、日)に27件で全体の52.9%となっています。

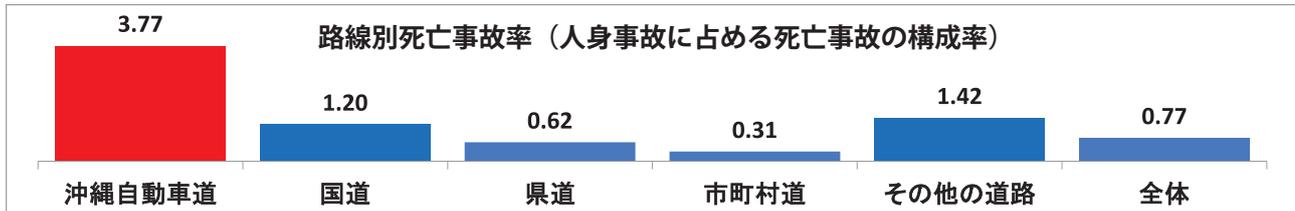
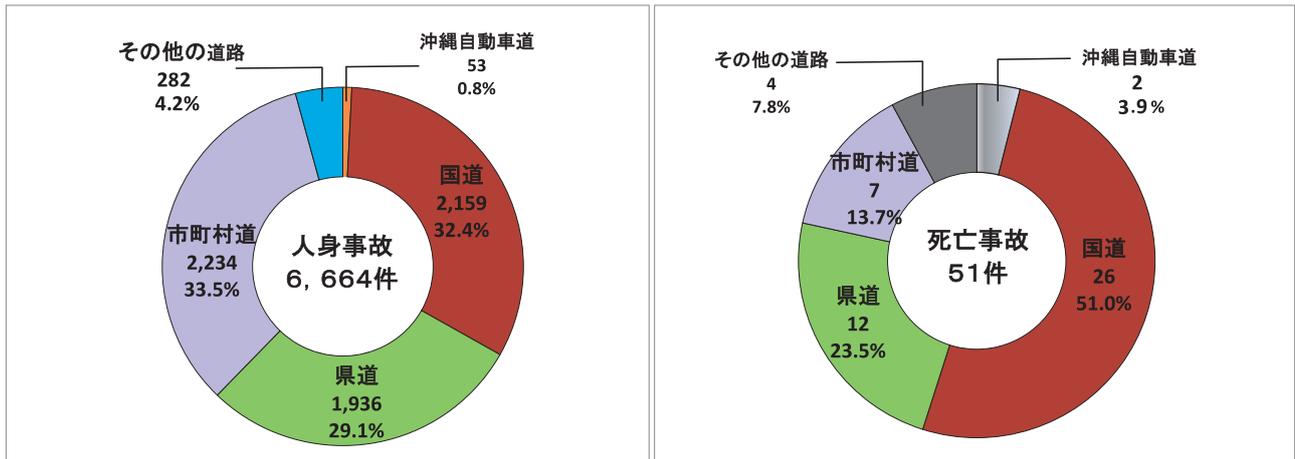
## 16 昼夜別事故発生状況



- 人身事故は、昼(3,856件)が最も多く、薄暮時間帯(昼明、昼暮)を含む昼間の事故は、70.3%を占めています。
- 死亡事故は、夜(30件)が最も多く、薄暮時間帯(夜暮、夜明)を含む夜間の死亡事故は、66.7%を占めています。
- 死亡事故率は、夜(2.09%)が最も高くなっています。

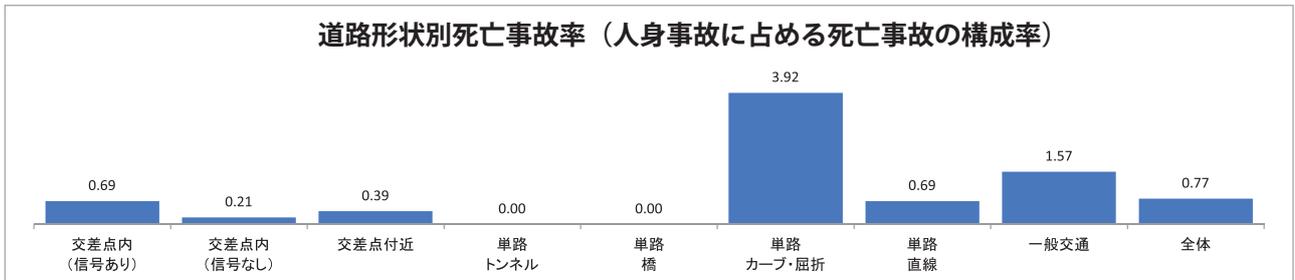
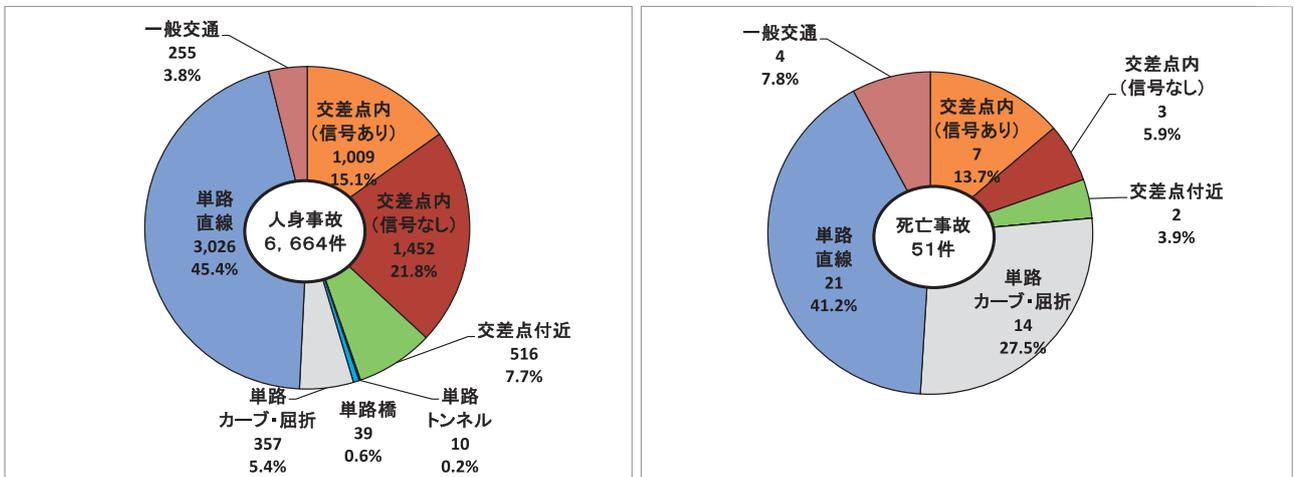
※ 昼明: 日の出から1時間以内の範囲 昼暮: 日の入前の1時間以内の範囲(昼: 昼明と昼暮を除く、日の出から日の入りまでの時間)  
 夜暮: 日の入後の1時間以内の範囲 夜明: 日の出前の1時間以内の範囲(夜: 夜暮と夜明を除く、日の入りから日の出までの時間)

## 17 路線別事故発生状況



- 人身事故は、市町村道(2,234件)が最も多く、全体の33.5%を占めています。
- 死亡事故は、国道(26件)が最も多く、死亡事故全体の51.0%を占めています。
- 死亡事故率は、沖繩自動車道(3.77%)が最も高くなっています。

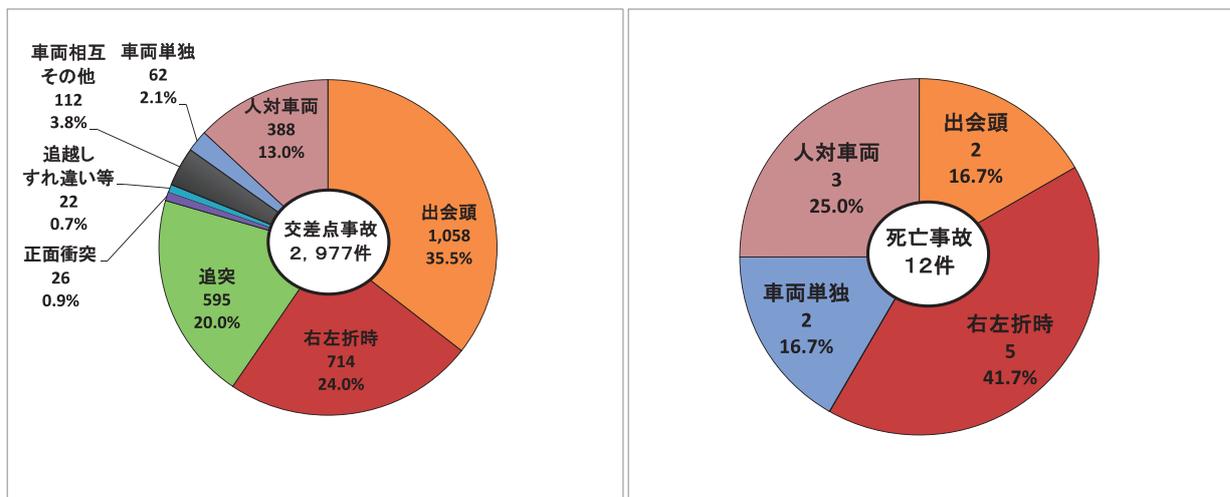
## 18 道路形状別事故発生状況



- 人身事故は、単路直線(3,026件)が最も多く、次いで信号なしの交差点内(1,452件)、信号ありの交差点内(1,009件)となっています。
- 死亡事故は、単路直線(21件)で最も多く、次いで単路カーブ・屈折(14件)となっています。
- 死亡事故率は、単路のカーブ・屈折(3.92%)が最も高くなっている。

## 19 交差点事故発生状況

交差点(付近を含む。)事故の事故類型別発生状況



- 交差点事故(交差点付近を含む。)は、出会頭(1,058件)が最も多く、次いで右左折時(714件)、追突(595件)の順となっており、これらで約8割(79.5%)を占めています。
- 死亡事故は、右左折時(5件)が最も多く、次いで人対車両(3件)となっています。

### 交差点事故の構成率が高い市町村

	市町村名	人身事故	交差点事故	交差点の構成
1	伊江村	2	2	100.0
1	南大東村	1	1	100.0
1	伊是名村	1	1	100.0
4	久米島町	6	5	83.3
5	竹富町	3	2	66.7

### 交差点事故の発生件数の多い市町村

	市町村名	人身事故	交差点事故	交差点の構成
1	那覇市	1,871	833	44.5
2	浦添市	753	319	42.4
3	沖縄市	671	314	46.8
4	宜野湾市	519	257	49.5
5	うるま市	362	163	45.0

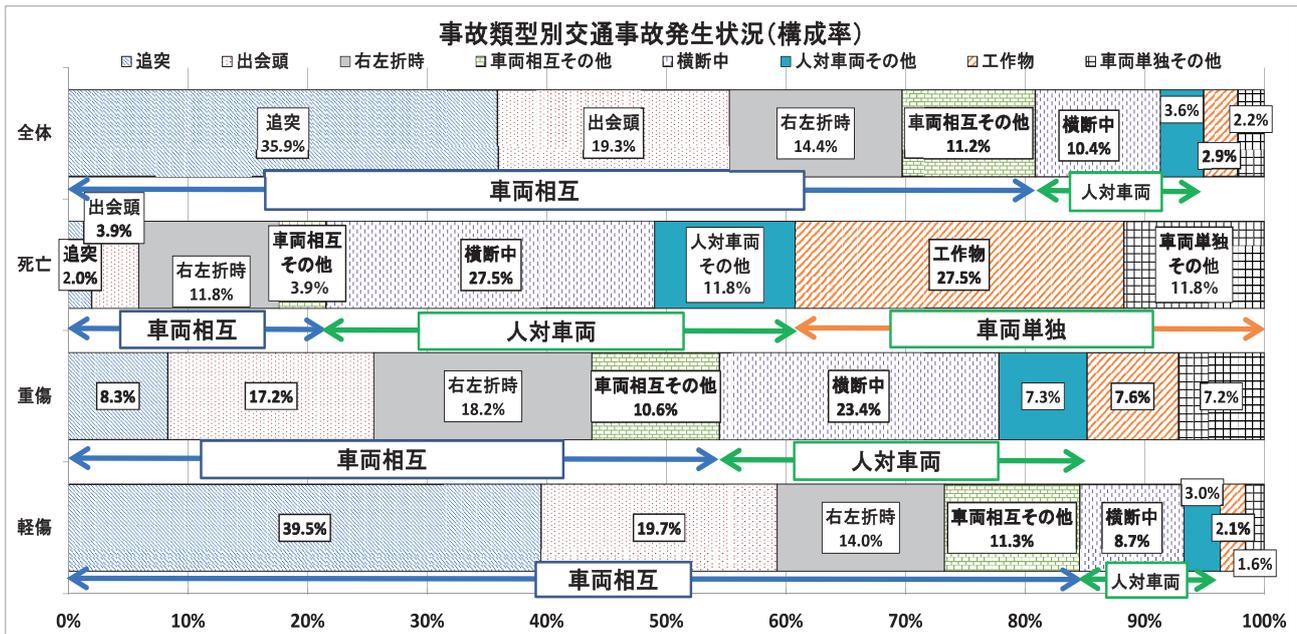
## 20 事故多発交差点

### 国道・県道の事故多発交差点

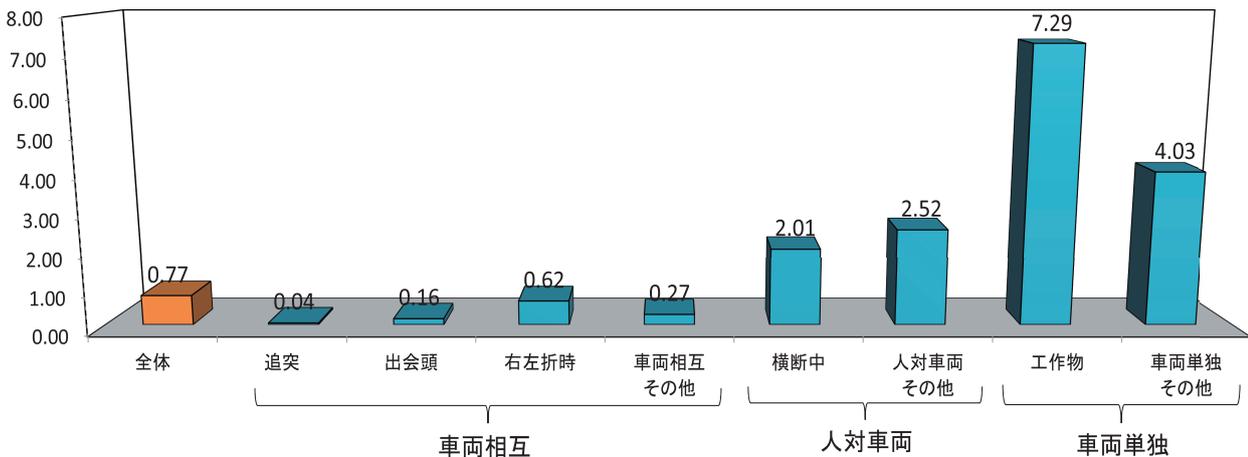
	交差点名	市町村名	路線名	発生件数
1	北谷交差点	北谷町	国道58号	12
2	上之屋交差点	那覇市	国道58号	9
3	大謝名交差点	宜野湾市	国道58号	8
4	松山交差点	那覇市	国道58号	7
4	仲井真交差点	那覇市	国道329号	7
4	浜川交差点	北谷町	国道58号	7

- 国道・県道の交差点では、北谷交差点(国道58号)が12件で最も多く、次いで上之屋交差点(国道58号)9件、大謝名交差点(国道58号)8件の順となっています。

## 21 事故類型別事故発生状況

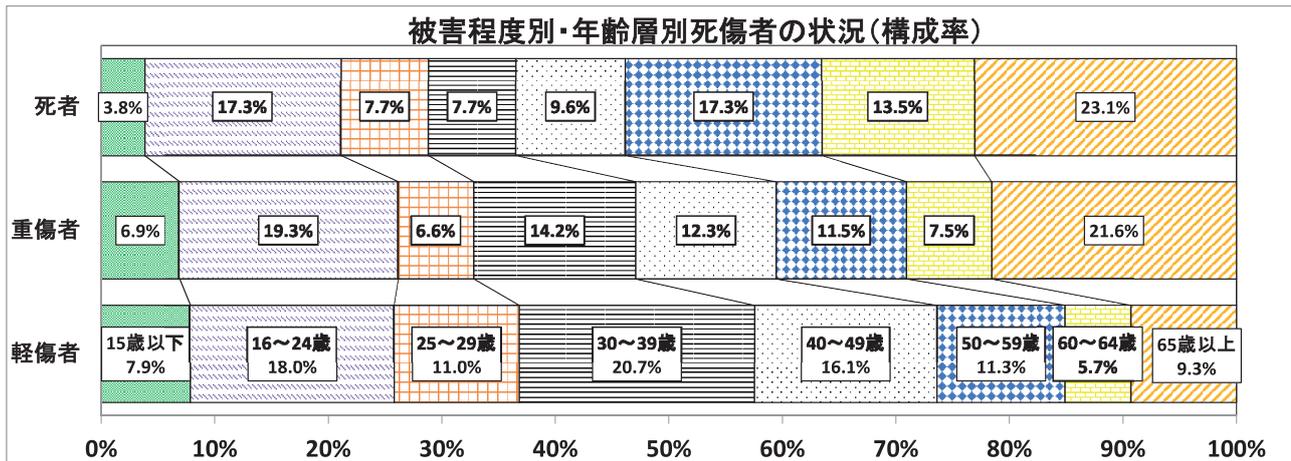


### 事故類型別死亡事故率



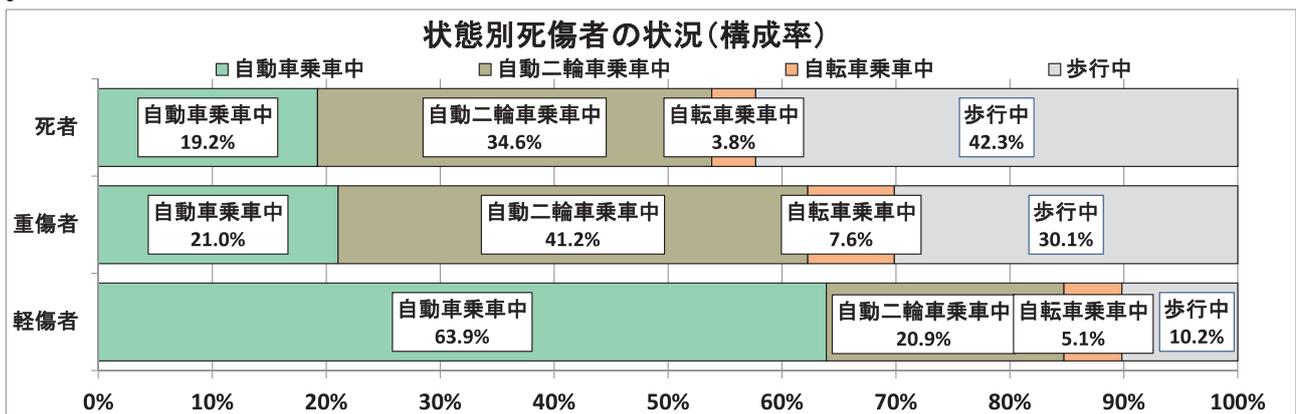
- 事故類型別の交通事故発生状況は、追突事故、出会頭事故、右左折時が多く、全体の約7割(69.6%)を占めています。
- 死亡事故は、車両相互が21.6%、人対車両が39.2%、車両単独事故が39.2%となっています。
- 全人身事故に占める死亡事故率は、車両単独の工作物衝突事故が7.29%と最も高く、全体(0.77%)の約9.5倍となっています。

## 24 年齢層別死傷者の状況



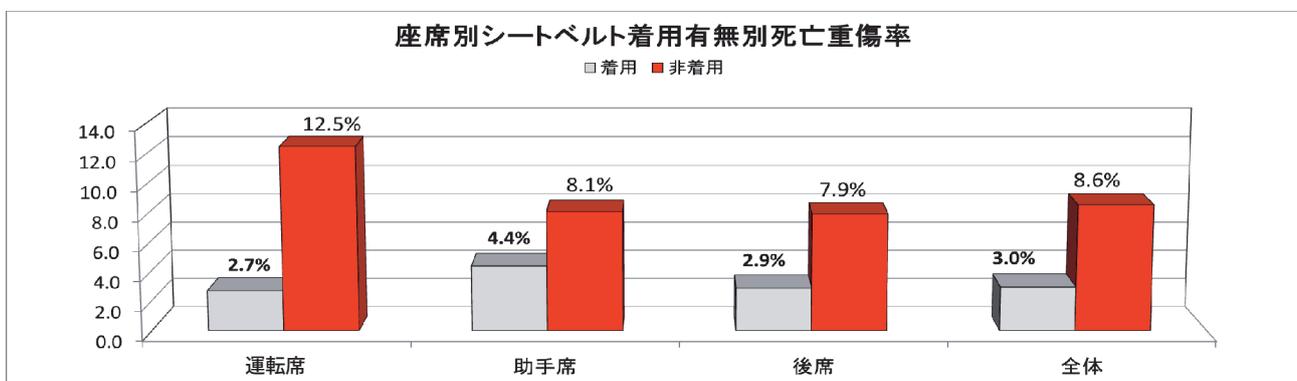
- 被害程度別の構成率が最も高いのは、死者は高齢者(65歳以上)(23.1%)、重傷者も高齢者(21.6%)、軽傷者は30~39歳(20.7%)となっています。
- 被害程度が重くなると高齢者の構成率が高くなっています。

## 25 状態別死傷者の状況



- 状態別の構成率が最も高いのは、死者は歩行中(42.3%)、重傷者は自動二輪車乗車中(41.2%)、軽傷者は自動車乗車中(63.9%)となっています。

## 26 シートベルト着用状況



- シートベルト(チャイルドシートを含む。)着用有無別死亡重傷率は、着用者の3.0%に対して、非着用の死亡重傷率が約2.9倍の8.6%となっています。
- 座席位置別では、運転席の非着用が着用者の約4.6倍となっています。